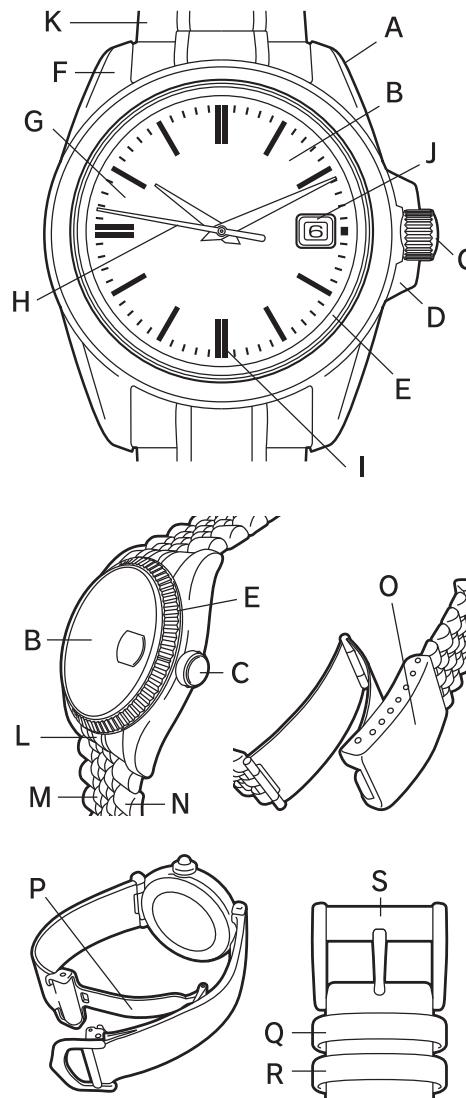


1. 各部の名称



- A … ケース(本体)
- B … 風防(ガラス)
- C … リューズ(クラウン)
- D … リューズガード
- E … ベゼル
- F … ラグ
- G … 文字盤
- H … 針(ハンド)
- I … インデックス
- J … カレンダー
- K … ベルト(バンド)
- L … フラッシュフィット
- M … ブレスレット
- N … コマ(リンク)
- O … クラスプ(バックル・留金)
- P … ディプロワイヤントバックル(Dバックル)
- Q … 定革
- R … 遊革
- S … 尾錠

2. ご使用上の注意

● 磁 気

クオーツ時計は針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを採用しています。このモーターは外部から強い磁気を受けると精度不良の原因となることがあります。また機械式時計でも、強い磁気を受けると時刻のずれが生じる場合がありますので磁気には近づけないようご注意ください。

〈例〉 磁気アクセサリー、バッグなどのマグネット金具、スピーカー、テレビパソコン、携帯電話、電磁調理器、など

● 衝 撃

腕時計は精密機械です。落下や壁にぶつけるなど、衝撃が加わると故障の原因になります。直接時計本体に衝撃が加わらなくとも、内部の部品の破損をまねく場合があります。腕に強い衝撃がかかるスポーツをする際は使用を避けてください。

● 温 度

入浴、サウナ、車内など高温になる恐れのある場所や極端に寒い所など、急激な温度変化は故障の原因になります。また、直射日光は文字盤の変色や劣化の原因になりますのでそのような場所には放置しないでください。

● 防 水

3気圧～10気圧(30～100M)の生活防水や、ダイバーズウォッチでは20気圧(200M以上)の防水など、用途によって性能目安が設定されています。水に触れる際はリューズが閉まっているかをご確認ください。リューズが開いた状態では防水にはなりません。リューズがねじ込み式になっているものは、しっかりとねじ込まれているのを確認してください。また、リューズや裏ぶたには樹脂製のパッキンが組み込まれており、使用や時間経過により劣化します。中古品、アンティーク品は経年劣化の為、新品時の防水性が保てない場合がありますので、ご使用の際はご注意ください。

3. 機械式時計

● 機械式時計

ゼンマイを巻き上げ、ゼンマイのほどける力で駆動する時計です。腕の動きによってゼンマイを巻き上げる【自動巻き】とリューズを回すことで巻き上げる【手巻き】とがあります。

自動巻時計の多くは、手巻きと同様にリューズでゼンマイを巻き上げることができます。精度は現行品(新品未使用、中古品)で一日当たりの誤差(日差)が ± 15 秒。

アンティークでは ± 30 秒～2分前後の誤差が生じる場合があります。また、精度はゼンマイの巻き上げ量や温度、湿度、時計の姿勢に影響を受けるため毎日変化します。

4. クオーツ時計

● クオーツ

電池の電力を動力源として、水晶(クオーツ)の振動を利用し時刻表示をする時計です。機械式より精度が高く一ヶ月当たりの誤差(月差)が数十秒から、1年で数秒程度のものまであります。定期的に電池交換が必要で、電池の寿命はモデルによって異なりますが約1～2年が目安です。なお、電池の寿命は販売時の電池残量により前後しますのでご了承ください。

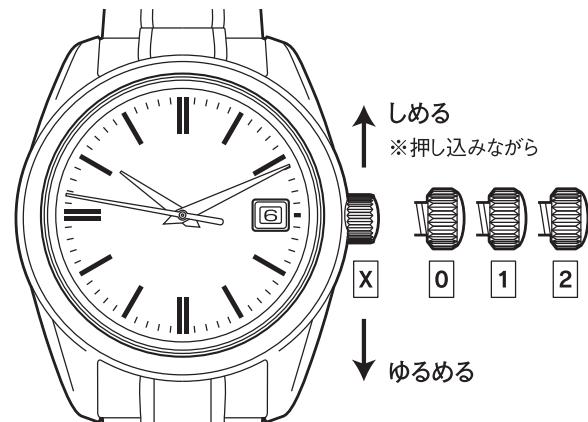
● オートクオーツ

電池が不要なクオーツ時計で、振動によって発電した電気を蓄えて駆動する時計です。

5. 操作方法

一般的な操作方法

・ネジ込み式リューズ



・通常のリューズ



● ゼンマイの巻き上げ（機械式時計）……… ①位置

ねじ込み式リューズの場合、図位置のリューズを反時計周りに回して図から図の位置に緩めることでリューズロックが解除され操作が可能となります。ゼンマイの巻き上げ方向に注意してゆっくり回して下さい。巻き上げがされている時は「キリキリ」とゼンマイが巻き上がる音がします。(時計によって巻き上げ方向は異なります。)巻き上げ回数は自動巻時計の場合で30~50回。手巻時計の場合は、巻き上げが抵抗感が無くなる程度まで巻き上げます。巻き上げ過ぎるとゼンマイが切れる場合もありますので、ご注意ください。

● カレンダー合わせ ……… ②位置

日付が変わる前後4時間(20時～4時)に、日付、曜日の早送り操作は絶対行わないで下さい。0時の前後4時間は日付を変える歯車が動作しています。その間に早送りをすると歯車を痛め、故障の原因になります。

・カレンダー合わせ リューズを①の位置まで引くと日付(及び曜日)が早送りできます。リューズを回す方向はモデルによって異なります。

・時刻合わせ ……… リューズを②の位置まで引くと、時刻合わせができます。針は時計まわりに動かしてください。午前と午後を間違えないようご注意ください。

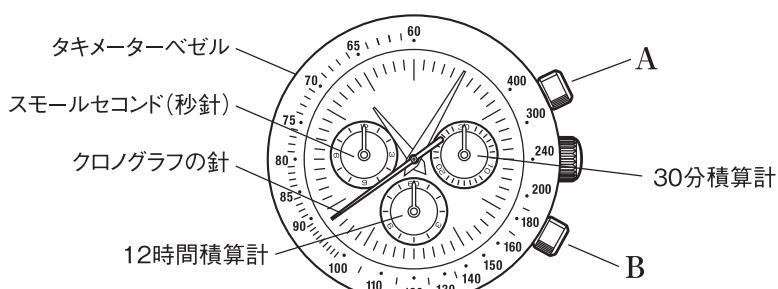
操作後はリューズを①の位置に戻します。ねじ込み式リューズの場合は、必ず図の位置に戻して使用してください。

● クロノグラフの使用方法

クロノグラフとはストップウォッチ機能が組み込まれた時計のことをいいます。

下記のような操作は故障の原因になります。

- （注 意）
- ・プッシュボタンの過度な連続操作
 - ・ストップウォッチを秒針代わりに常時作動させる
 - ・水中でのプッシュボタン操作（一部水中でも操作できるモデルがあります）
 - ・その他、機械に負担がかかる操作



- ・A スタート/ストップボタン
- ・B リセットボタン
- ・30分積算計 1周すると30分（1目盛1分）。秒針が1周すると1分を指します。
- ・12時間積算計 1周すると12時間。30分計が1周すると1つ目の目盛の半分動きます。
- ・タキメーターベゼル 速度計測に使用。平均時速や生産効率の計算ができます。

※ インダイアルの種類や、計測できる単位、ベゼルの目盛はモデルによって異なります。

● 操作方法

はじめに、リューズが押し込まれた状態であることを確認してください。スクリュー式のプッシュボタンの場合は、ねじ込み式リューズと同様にロックを解除すると操作が可能です。

〈A〉スタートボタンを押すとクロノグラフの針が動きはじめ、計測を始めます。もう一度〈A〉スタートボタンを押すと、計測がストップします。

〈B〉リセットボタンを押すと、針の位置が0時に戻ります。スクリュー式のプッシュボタンの場合、ご使用後は必ずロックしてください。

※ ストップウォッチを動かした場合、極力30秒以上は計測してください。すぐにストップしてリセットすると、機械に負担がかかり故障の原因になります。

フライバック機能付きのクロノグラフは、〈A〉スタートボタンを押して計測した後、〈B〉リセットボタンを押すと、クロノグラフの針が0時の位置に戻ると同時に再スタートします。フライバック機能が付いていない通常のクロノグラフで同様の操作を行うと故障の原因となる場合があります。

6. GMT機能

● GMT機能

GMT機能は通常の時間表示以外に第2の時間を表示できる機能です。GMT機能のある時計は長短針以外にGMT針があり、第2の時間を表示します。通常の短針が12時間で1周するのに対して、GMT針は24時間で1周します(GMT針が12時間で1周するモデルもあります)。短針とGMT針が別々の時間を表示できるので、時差を設定する事により、例えば海外の取引先の時間を知ることができます。

操作方法はリューズで操作するものと、プッシュボタンで操作するものがあります。また、短針を動かして時差をつくるモデルと、GMT針を動かして時差をつくるモデルの大きく二つのタイプに分かれます。

7. ダイバーズウォッチ

● 回転ベゼル

ダイバーズウォッチには、潜水時間を計測する為の逆回転防止ベゼルがついています。ベゼルを反時計回りに動かし、0位置(▽マーク)を長針に合わせることで、潜水時間をベゼルの数字で確認できる機能です。ダイバーにとって酸素ボンベの残量は命を左右します。もしベゼルが時計回りに回転してしまうと、潜水経過時間が短く表示されてしまい、潜水可能な時間を見誤ってしまいます。逆回転を防止することで、もし潜水中にベゼルが回転してしまっても早く浮上するだけになりますので、危険を回避できます。

● エスケープバルブ

一部のダイバーズウォッチには、ヘリウム排出用のエスケープバルブを備えています。酸素とヘリウムを混合した空気を使用する特殊な潜水方法を行ったときに時計内部からヘリウムを排出する機構です。潜水浮上時に時計内部へ入り込んだヘリウムによって時計の内圧が高くなり、内部の破損や風防が吹き飛ぶことがあります。そういういた压力による破損を防ぐ為に、ヘリウムを逃がす仕組みです。

8. メンテナンス

● オーバーホール

機械式時計は3~4年に一度、オーバーホールをおすすめしています。オーバーホールとは機械の分解、清掃、再組み立て、劣化した部品の交換や注油を行い、時計を良好な状態にすることです。場合によってはクォーツ式時計でもオーバーホールは必要です。たとえ動作に異常が無くても、部品の摩耗や油切れにより劣化は進んできますので定期的なメンテナンスを心掛けください。

● 日常のお手入れ

ステンレススチールは錆びにくい素材ですが、汗や水分が長期間付着すると錆びが発生します。水に濡れてしまった場合は乾いた布などで水分を拭き取り、直射日光の当らない風通しの良い場所に置いてください。

9. 「故障かな?」と思ったら

● 時計が動かない

リューズが押し込まれているのを確認してください。もしもゼンマイの巻き上げ不足が考えられます。

● 時計が遅れる／時計がすぐに止まってしまう

自動巻時計でも腕の運動量が少ない場合はゼンマイの巻き上げ不足が考えられます。自動巻、手巻ともに、リューズでゼンマイをじゅうぶんに巻き上げてから使用しましょう。

● 秒針が動いていない

動いていないのはクロノグラフ針ではありませんか?

多くのクロノグラフ搭載時計は、秒針がインダイアルに設置されています。

● カレンダーが午前0時ちょうどで切り替わらない

機械の異常ではなく、前後10分程度は個体差による許容範囲です。モデルによって切り替えのタイミングにも幅があるため、0時を過ぎてから切り替えが完了するものもあります(23時ごろから徐々に切り替わるものもあります)。

● クォーツ時計が遅れる／止まった

電池切れがおもな原因と考えられます。

● 時計内部から音がする

自動巻時計の場合、振動や揺れでローターという部品を回転させゼンマイを巻き上げる為、ローターの回転音が聞こえます。